

令和4年度

虹の坂通信



呉市立昭和南小学校
学校通信第16号
令和4年10月11日

たくさんの人から学ぶ

先週、南小学校にはたくさんのゲストティーチャーに来ていただきました。

月曜日には、マツダ陸上部の選手やコーチの方6名に来ていただき、5・6年生が走り方のコツを教えていただきました。お正月のニューイヤー駅伝に出るなどのプロの選手たちです。コロナで中断していて、3年ぶりの体験です。

火曜日には、音楽鑑賞会を行い、小城さん（ピアノ）、宮原さん（フルート）の専門家の演奏を聴きました。クラシックの名曲や教科書にも出てくる曲など、5曲を演奏してくださいました。子どもたちの中には、「気持ちよくて眠くなりました。」と感想を言っている子がいました。

金曜日には、昭和地区の東女性会のみなさんが、1年生に挨拶の大切さを話してくださいました。お土産に、缶バッジと消しゴムもいただきました。学校だけでなく、お家の人との挨拶も大切なことを教えてくださいました。

たくさんの方に、子どもたちの心と体を育てていただいています。感謝したいと思います。



音楽鑑賞会（全校）



あいさつ運動（1年生）



呉氏から賞状を

最後までやり切ること

今年、呉市は市制120周年を迎えました。それを記念して、記念バッジをつくることになったそうです。呉市では、そのデザインを呉市の子どもたちから募集しました。

南小では、6年生がこの企画に参加し、全員でバッジのデザインに取り組みました。応募する前に、担任の藤井先生が私に6年生全員のデザインを見せてくれました。ちょっと驚きました。どの作品も細部まで丁寧に描き込まれ、色もきれいに塗ってありました。最後までよいものを創ろうと取り組んだことがわかりました。

嬉しいことに、赤坂さんのデザインが選ばれ、記念バッジとなりました。小山さんも優秀賞となりました。一生懸命最後までやり切れば、そこに結果がついてきて、自分の中でも達成感が生まれる。6年生がそれをあらためて教えてくださいました。やっぱり一生懸命はカッコいいです。



呉市制120周年記念バッジ